

家庭生活（調理実習）

たまごを割って、料理を作ろう！

小出特別支援学校川西分校（高等部） 松原 由美子

ねらい・目標

・簡単な調理が準備から調理・後片付けまで、一人でできる。



単元・指導の工夫

1. 見て 考えて 自分でできる授業

- ①画像を使って手順を確認(iPad)
- ②できるだけ一人で実践(写真カード・iPad)
- ③必要な時のみ支援
- ④できた体験を称賛(チェックカード)

2. 家でもできそうな簡単なメニューに挑戦

- ①目玉焼き→ハムエッグ

教材・支援具

写真カードなら持ち歩き可能

①食材、調理器具の写真カード



不安なときは、映像で確認

②iPadを使用 ~卵のわりかた~



支援の工夫

○活動しやすい教室環境

- ・広い調理室ではなく、適切な広さ・机を少なく。
- ・一人で準備しやすいように、道具を並べる。

○安全面に配慮した道具の使用

- ・フライパンではなく、ホットプレート
- ・食器は、割れないプラスチック製
- ・卵を割るときは、茶碗の中に割ってから



○家庭との連携

- ・調理チェックカードを使い、自分でできたことを確認。
- ・家庭にも伝え、実践の機会を増やすように協力を得る。

生徒の変容

考えて 動けた！！



「箸3人分を持ってきて下さい。」
写真カードを渡すと・・・



「箸は3本？箸は何本もっていけばいいの？」
カードを見ながら、1人分は2本。
2人分、3人分・・・
全部で6本、もっていけばいいんだ！

成果と課題

<成果>

- ・必要な時には支援を受けながらも、手洗いから片づけまで考えながら活動できた。
- ・最後までやろうという意欲の高まりが見られた。

<課題>

- ・家庭での実践の機会を増やすために、家族の理解と協力を得る。
- ・授業では、インスタント食品の使い方も含め、自分で用意できる献立を繰り返し実践する。

めざせ！
ひとりでもできるもん♪

